

定置電源への取り組み

狙い

燃料電池システムを定置用電源に適用し、クリーンで安心・安全な電力の提供によりカーボンニュートラル社会の早期実現を目指します。

社内実証（アメリカンホンダモーター）



アメリカン・ホンダモーターの敷地に設置
データセンターの非常用発電として社内実証を開始しました。

技術の特徴

- ・燃料電池システムを連結することで出力バリエーション展開が可能
- ・出力ニーズに適応する高い応答性

共同実証（山口県周南市）



- ・副生水素供給
- ・実証場所提供



- ・定置電源の開発
- ・技術・操業性検証



- ・プロジェクト統括
- ・事業性検証
- ・データセンター設置・運用

副生水素と車両からのリユースを想定した定置電源の活用により
データセンターの脱炭素化を図る共同実証(*)を実施

(*)国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「水素社会構築技術開発事業／地域水素利活用技術開発／地域モデル構築技術開発」事業として採択。事業期間：2023年度~2025年度

実証を通じて技術蓄積や事業性検証を実施し、電力の水素活用および脱炭素化へ繋がります